

内閣総理大臣 安倍晋三 殿  
経済産業大臣 甘利 明 殿

取り扱い団体

三陸の海を放射能から守る岩手の会

## 海に、空に、放射能を流さないことを求める署名

いまアクティブ試験運転中の六ヶ所核燃料再処理工場は、操業を始めると一年に四万七千人分の経口致死量、一般人の摂取限度に換算すると三億三千万人分にも相当する放射能を海に放出します。そして、この放射能放出により「今世紀最大の海洋汚染」を引き起こす危険が指摘されています。

下北の海にこれが放出されると、海流の下流に位置する青森県、岩手県や宮城県の養殖や水産業の被害は計り知れません。さらに古来、海の恵みに頼ってきた日本人の食の安全が脅かされます。また、大気への放射能放出によって地球規模での放射能汚染が心配され、周辺の人々の日常的被ばくによる健康被害や、農作物の汚染をまねくおそれがあります。

岩手県議会は平成十七年十月、私達が提出した「三陸の海を放射能から守ることについて請願」を全会一致で採択し、アクティブ試験について慎重を期すことや沿岸海域の環境影響評価を行うことを求めてきました。しかし、試験操業スケジュールが優先され、岩手県民の思いには配慮されておられません。

世界的にも有数な漁場であり、まさに天恵と言える下北・三陸の海に、さらには日本を取り巻く海に、また青森県の陸上や空に放射能が流されることなく、広く日本の環境が守られるよう次の事を求めます。

- 一、海に、空に、放射能（放射性物質）を放出しないこと。
- 二、核燃再処理工場の廃水・排気は、放射能除去装置で放射能を取り除いたのち放出する事。

氏 名	住 所

「三陸の海を放射能から守る岩手の会」〒020-0004 盛岡市山岸6-36-8 永田方

\*この署名は、趣旨に賛同出来る方ならどなたでも署名出来ます。これは目的以外には使用致しません。集まった署名用紙は「三陸の海を放射能から守る岩手の会」へご送付くださいますよう御願います。(第一次集約4月末日、第二次集約5月末日、最終集約6月末日) 裏面に資料掲載